

静岡県立農林環境専門職大学・短期大学部紀要・年報原稿執筆要領

- (1) 原著論文の和文原稿には、英文の表題、著者名、所属、要約（300文字以内）の順に記載する。英文原稿には、和文の表題、著者名、要約（600文字以内）の順に記載する。またそれぞれ和文、英文のキーワード（5ワード以内）を書く。その他については、この限りではない。
- (2) 著者の所属は著者名に続けて改行し、（）を付けて記載する。著者が複数で、複数の機関に所属している場合には、著者名・所属機関名それぞれの肩に上付き文字の「*」や「**」を用いて整理して記載する。
- (3) 原稿用紙はすべてA4版とし、上下と左右に25mmの余白を空け、和文の場合は横書きで2段組22字×44行、英文の場合は15ワード×44行を標準とする。
- (4) 原稿の長さは、原則として原著論文、調査・技術論文、総説は刷上り8頁以内（図表込みで14,700字以内）、教員活動紹介等は5頁以内（図表込みで9,200字以内）とする。
- (5) 和文原稿は常用漢字、現代仮名遣い、漢字仮名交じり文を用いる。和文字はMS明朝体、英数字はTimes New Romanを基本とし、タイトルは12ポイント、本文は10.5ポイントで作成する。
- (6) 本文の見出しは、章：I. . . . , 節：1. . . . , 項：(1) . . . , 小項：1) . . . の順とする。なお、章、節、項が変わるときは1行空けて見出しを書く。
- (7) 本文を改行するときは、和文の場合1字空け、英文の場合は3字空けて書く。
- (8) 図表および写真は明瞭なもの作成し、本文中に挿入する。図・表・写真はそれぞれについて掲載順に番号を付け、「図1. ○○. . .」「表1. ○○. . .」「写真1. ○○. . .」のように記載する。表題の記載場所は、表では本体の上側、図及び写真では本体の下側とする。また、念のために図表及び写真は別途提出すること。
- (9) 脚注を付ける場合には当該箇所に記載順に「(注1)」と記載し、各節の末尾に10ポイントで脚注をまとめて記載する。
- (10) 文献リストは、筆頭著者名のアルファベット順に記載する。同一筆頭著者名のものは年次順とし、同一筆頭著者名で同一年次のものは、年次の後ろにa, bを付し、違いを明記する。
- (11) 本文中での引用および参考文献の形式は、著者名（西暦刊行年）もしくは（著者名、西暦刊行年）とし、著者が複数の場合は「○○○ら」と表記する。
- (12) 初校は、著者が行うことを原則とする。
- (13) 本要領の改正は編集委員会の議決を経て行う。

2020年12月9日 施行
 2021年4月16日 改定
 2022年5月13日 改定

紀要・年報原稿フォーマット

.....

— 副題がある場合 —

和文タイトル
MS明朝 12pt

.....

氏 名 (所 属) MS明朝 10.5ポイント

英文タイトル
Times New Roman
12ポイント

(2行空ける)

I. ○○○○MS明朝10.5pt太字

1. ○○○○MS明朝10.5pt

(1) ○○○○MS明朝10.5pt

(1行空ける)

II. ○○○○MS明朝10.5pt太字

1. ○○○○MS明朝10.5pt

(1) ○○○○MS明朝10.5pt

※上下余白25mm, 左右余白25mm, 2段組み 22字×44行

※和文フォントはMS明朝, 英数フォントはTimes New Romanで半角, 本文フォントサイズ10.5pt

※文体は, 「…である」調とし, 和文原稿は常用漢字, 現代仮名遣い, 漢字仮名交じり文を用いる.

※英数字は半角

※本文中での引用および参考文献の形式は, 著者名(西暦刊行年)もしくは(著者名, 西暦刊行年)とし, 著者が複数の場合は「○○○ら」と表記する.

※アラビア数字を用いるが, 「一番茶」, 「二粒系」のように熟語となっている数字は漢字

※動植物名はカタカナ書き

※学名は属以下の名はイタリック体, 命名者及び「var.」, 「subsp.」, 「f.」などはCentury体

※単位は, 国際単位系(SI units)に従い, 計量はメートル法(十進法)を用いる. 単位記号にはピリオドをつけない.

例: 長さ: m, cm, 面積: ha, a, m² 体積: m³, cm³, mL, 質量: kg, mg,

時間: h, min, s 濃度: %, mol

引用および参考文献

静岡太郎・磐田次郎. 2020.の研究. 園芸学研究. 15: 10-15.

東京太郎. 2020. 生物統計と...計画. P.107-112. 養賢堂. 東京.

※脚注を付ける場合には当該箇所に記載順に「(注1)」と記載し, 各節の末尾に10ポイントで脚注をまとめて記載する.

※文献リストは, 筆頭著者名のアルファベット順に記載する. 同一筆頭著者名のものは年次順とし, 同一筆頭著者名で同一年代のものは, 年次の後ろにa, bを付し, 違いを明記する.

※引用および参考文献は、著者名、年号、論文表題、雑誌名（短縮形にしてもよい）、巻数、号数、ページ数の順

※引用および参考文献の英文著者名は、名を先に姓を後にし、頭文字は大文字で、第2文字以降は小文字で記載

※単行本の場合は、著者名、年号、書名、引用ページ、発行所の順

※Web資料は、信頼のおける機関により公開されている場合にのみ、記載する。

例：植物工場建設基準（2014）：<http://www.shita.jp/PlantFacttandard/index.html>
（2014年1月1日参照）

表1 冬作メロンにおける収穫時の果実品質

処理区 1)	果 重 (g)	固有振動値 2) (Hz)	果高 (cm)	果径 (cm)
果実小	1261c	265	13.6c	13.5b
果実中	1450b	269	14.5b	13.6b
果実大	1623a	270	15.0a	14.3a
分散分析 3)	**	n.s	**	*

1) 果実小：1.35kg 以下，果実中：1.35～1.55kg，果実大：1.55kg 以上

2) 固有振動数を果重 1kg 当りに補正した値

3) *は 5%，**は 1%水準で有意差有り。同符号間には Tukey の検定(5%)で有意差なし

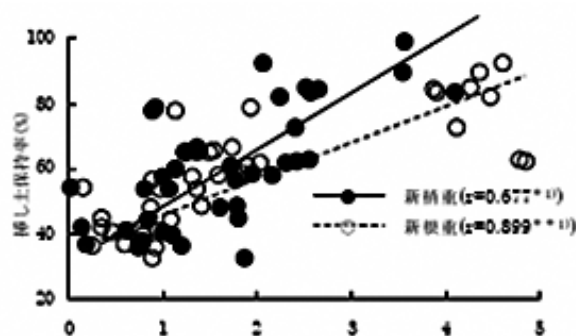


図3 挿し木苗の新梢重及び根重と挿し土保持率の関係

1) 図中の*は 5%，**は 1%水準で有意を示す

※図表にはそれぞれ図1、表1のように一連の番号を記載

※表題の記載場所は、表では本体の上側、図及び写真では本体の下側

※図を囲む枠はつけない。

※脚注を示す記号は、相当箇所の右肩に、「1)」「2)」とし、統計的有意差の存在を示す場合にはアルファベットの正順「a, b, c, d」を原則とする。